

みなさまおげんきですか。たいこうせつはもうだい2のにちようびをむかえましたね。  
アドベントカレンダーをまいにちいのりをしてからいろをぬっていますか。  
イエスさまをむかえるためにわすれないでね。

こうていテイベリウスのちせいのだい15ねん、ポンテオ・ピラトがユダヤのそうとく、ヘロデガリラヤのりょうしゅ、そのきょうだいふいりぼがイトラヤとトラコンちほうのりょうしゅ、リサニヤがアピレネのりょうしゅ、アンナスとカイアファとがだいさいしであったとき、かみのことばがあれのでザカリアのこヨハネにくだった。そこで、ヨハネはヨルダンかわぞいのちほういったいにいって、つみのゆるしをえさせるためにくいあらためめのせんれいをのべつたえた。これは、よげんしゃイザヤのしよにかいてあるとおりである。  
「あれのでさけぶものこのえがする。『しゅのみちをととのえ、そのみちすじをまっすぐにせよ。たにはすべてうめられ、やまとおかはみなひくくされる。まがったみちはまっすぐに、でこぼこのみちはたいらになり、ひとはみな、かみのすくいをあおぎみる。』」

きょうのふくいんしよでは、「あれのでさけぶこのえがする」とかいてあります。ユダヤのぜんちほうからせんれいしゃヨハネのよびかけにこたえて、いままでわかったことをはんせいし、つみのゆるしのためにせんれいをうけていました。このことかいてあります：  
「しゅのみちをととのえ、まがったみちはまっすぐにし、でこぼこのみちはたいらになり、かみのすくいをみる。」じぶんにとって、まがったみち、でこぼこのみちとは、どんないみがあるのでしょうか。かんがえてみましょう。おともだちとけんかしたとき、ごめんとあやまったら、でこぼこのみちは(こころ)はまっすぐになったのですね。しかしだれかとくらべてじぶんがいちばんとおもって、じまんしてごうまんなこころのままでいたら、それはみち(こころ)はたいらになっていませんね。

わたしたちは、まいにちかみさまとつながっています。そのこえがきこえますか。いまのたいこうせつはかみさまのこえにきづくきかんでもあります。かみさまはいつもわたしたちといっしょにいて、いろんなほうほうでしめしてくださっています。せんれいしゃヨハネはかみさまのこえをたいせつにしたひとりです。イエスさまについてしらせてくださって、またわたしたちにかみさまのこえにみみをかたむけるようによびかけていました。  
みんな、かみさまのこえをきこえていますか。なにをいっておられますか。かみさまはわたしたちのこころによびかけることもあります。まわりのひとびとをとおしてこえをかけられるときもあります。おとうさん、おかあさん、せんせい、ともだちなどなどです。  
そのこえにみみをすましてきてこたえましようね。

# ぬりえ

